※ 網掛けのない部分が評価計画，網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す児童像含む）

(1) 基本目標

・「人権尊重の教育」を基盤とし、学びに向かう力や豊かな人間性の涵養を図る教育活動の実践を通して主体的・創造的に生きる、人間性豊かなたくましく生きる児童を育成する。

(2) 具体目標（具体的な児童像など）

・思いやりのある子ども(思いやり星) ・よく考え進んで学ぶ子ども(学び星)
 ・健康でねばり強い子ども(健康星) ・働く喜びを知る子ども(働き星)

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

「思いやり・健康・働く喜び・共に学ぶ 楽しい学校」

子どもたちが夢を抱き、未来に向かって成長し続けるための基盤を培うべく、愛情と使命感をもって、全力で教育にあたっていく。そして、思いやりがあり、生き生きと学ぶ児童を育成し、児童・教職員・保護者・地域が共に学ぶ楽しい学校を目指す。

楽しい学校とは、「児童にとって、わくわくして登校し、楽しい一日を過ごし、満足して下校できる学校」「教職員にとって、自分のもてる能力を十分に発揮できる、やりがいのある学校」「保護者にとって、安心して子どもを通わせ、積極的・主体的に協力できる学校」「地域にとって、信頼でき、積極的・主体的に協力できる開かれた学校」である。

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

(1) 学校運営の適正化

創立148年目を迎える本校の歴史と伝統を継承し、児童・地域の実情を踏まえ、学習指導要領に基づき、学校や児童の実態に即した創意ある教育課程を編成する。児童を主体とする活動の充実を図ると共に、地域の教育力の導入を推進し、活気あふれる学校づくりに努める。

(2) 教職員の資質の向上

教育公務員として法令を遵守するとともに、人づくりの使命感に立ち、学校や保護者・地域の実態を踏まえた実践的な研修に励み、自身の資質向上を図り、和と協働を基盤に、教職員一人一人の特性やよさを生かし、児童・保護者と共に学校づくりに努める。

(3) 学年・学級経営の充実

児童一人一人の興味・関心・意欲や個性等に配慮し、主体的・対話的で深い学びに向けた学級集団づくりと、活力に満ちた教育活動の展開のための学級力向上に努める。

(4) 学習指導の充実

児童主体の分かる授業、楽しい授業の展開に向けた授業力の向上に取り組み、基礎・基本の確実な定着を図り、思考力・判断力・実践力等を重視した体験的・問題解決的な学習を推進すると共に、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた研究を推進する。

(5) 豊かな心の育成

「特別の教科 道徳」を核とした指導と共に、様々な体験活動を通して、生命尊重・思いやり・感謝・勤労・奉仕等の豊かな心の醸成等を重視した教育を推進し、心豊かでたくましく生きる児童の育成に努める。

(6) 児童指導の充実

全教職員の認識を共有し、児童・保護者・教職員間の信頼関係を深め、共感的理解に基づいた人間関係を確立し、日常のふれあいを通して、基本的な生活習慣や集団行動の徹底を図るとともに、社会性の育成に努める。

(7) 体力の向上と保健安全教育の充実

本校の課題である児童の体力向上を目指し、自ら進んで運動に親しみ、健やかな体を育む保健体育指導の充実を図ると共に、健康・保健・安全指導の推進に努める。

○ (8) 地域学校園・小中一貫教育の推進及び特色ある学校づくり

地域の教育力を生かし、家庭・地域・関係諸機関との連携・協働を図りながら、充実した地域学校園・小中一貫教育の実践に努める。また、児童が主体となった勤労生産活動や奉仕的活動を積極的に取り入れた、特色ある学校づくりに努める。

(9) 地域とともにある学校づくり

地域の教育力の活用及び発掘を推進すると共に、年間を通してのフリー参観や土曜授業等の実践により、学校と保護者地域等の信頼関係を深め、地域に開かれた学校づくりに努める。また、地域協議会・地域諸団体と連携・協働し、地域に根ざした学校づくりを目指す。

[横川地域学校園教育ビジョン]

「豊かな心の育成を目指す 横川地域学校園の小中一貫教育」

～自分、人、地域を大切にすることの育成を目指して～

4 教育課程編成の方針

- (1) 教育課程の編成に当たっては、公教育の立場から日本国憲法・教育基本法・学校教育法及び同施行規則並びに小学校学習指導要領の基準に基づいて編成する。
- (2) 学習指導要領の基本的なねらいである、基礎的な知識及び技能を習得させること、習得した知識や技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力を育むこと、主体的に学習に取り組む態度を養うことの実現に向け、それらにバランス良く取り組める教育課程を編成する。
- (3) 「栃木県教育振興基本計画2025」に示された基本理念である「とちぎに愛情と誇りをもち 未来を描き ともに切り拓くことのできる 心豊かで たくましい人を育てます。」を目指し、「確かな学びを育む教育の充実」に基づいた教育課程を編成する。
- (4) 宇都宮市「第2次学校教育推進計画」(うつのみやいきいき学校プラン)を基に、その施策の柱である地域学校園構想・小中一貫教育を円滑に実施していくことを考慮して編成する。
- (5) 本校教育目標・本年度の経営方針や努力点・学校課題等を踏まえるとともに、地域社会の要望、保護者の願い、本校の実情や児童の実態・特性等を十分に考慮して編成する。
- (6) 前年度の成果や反省を生かすとともに、各教科、特別な教科「道徳」、総合的な学習の時間及び特別活動の4領域の関連を図り、調和と統一のある編成に努め、ゆとりある充実した教育課程を編成する。(教科横断的な視点より)

5 今年度の重点目標(短期的視点) ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

(1) 思いやりの心の育成

「特別の教科道徳」を核とした心の教育の充実や、人権尊重の精神の涵養を目的とする教育活動の推進を図る。

(2) 学力向上

主体的・対話的で深い学びを促す学習指導と評価の工夫・改善(授業力の向上)や、子どもたちの良好な人間関係(学級力)を高め、学びに向かう力や豊かな人間性の涵養を図る。

(3) リーダー性の育成

特別活動(学級活動及びクラブ・委員会・児童会等の活動)の活性化を図るとともに、教育的ニーズに応じた多様な学びの場の充実により、児童の社会性の育成に努める。

(4) 地域と共にある学校づくり

家庭・地域並びに地域学校園の教育力を生かした教育システムを積極的に活用し、活気あふれる学校づくりに努める。

【学校運営】

- ・教職員が児童と向き合える時間の確保に向け、業務の効率化に努めると共に、出退勤時刻の管理に係る取組により、労働時間の適正化を推進する。
- ・共同的な学びの実現に向けて、教職員自らが学び合い、授業力や学級経営力等の資質の向上に向けた取組の推進に努める。

- 主体性と独自性を生かした学校経営を推進すると共に、地域学校園に係る事業の効果的で円滑な運営に努める。(乗入授業、研究授業、相互授業観察等の交流、外国語教育に係る授業力向上を図る取組の充実、等)

【学習指導】

- ・主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、以下のテーマで研究に取り組む。
「主体的に自分の思いを表現し、学び合う児童の育成」

【児童生徒指導】

- ・ 道徳的な判断力、実践力を育むとともに、体験活動や読書活動の充実により豊かな感性を育む。
- ・ いじめ防止基本法に基づき、「特別の教科 道徳」や児童会が主体となった集会活動など様々な教育活動の場の設定により、児童の規範意識や正義感、思いやりの心の育成に努める。

【健康（保健安全・食育）・体力】

- ・ 教科指導の充実や学校行事、児童会活動等の機会を通して、運動に親しもうとする態度・能力や、健康を大切に管理する態度の育成を図る。
- ・ 給食指導を中心に、より良い食習慣について児童自らが考え実践できるよう指導の充実を図ると共に、家庭・地域と連携して、生涯にわたって心身ともに健康で安全な生活を送るための資質・能力の育成を図る。

6 自己評価項目（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性にはA 拡充 B 継続 C 縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
児童の姿	<p>A 1 児童は、進んで学習に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「児童は、授業中、話をしっかりと聞いたり、発表したりするなど、進んで学習に取り組んでいる。」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上</p>	<p>① 話の聞き方、発表の仕方、ノートのとおり方など基本的な学習態度・技能を身に付ける指導の充実を図る。一人一人が意見を発表しやすい学級の雰囲気づくりに努める。</p> <p>② 授業中の約束について、学年の発達段階や実態に応じた指導を行い、定着を図る。</p> <p>③ 授業において、児童が自分の思いや考えを豊かに表現できる学習活動を重視する。</p>		<p>【達成状況】 児童の肯定的回答率 %</p> <p>・</p> <p>【次年度の方針】 ・</p>
	<p>A 2 児童は、思いやりの心をもっている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「児童は誰に対しても、思いやりの心をもって優しく接している。」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上</p>	<p>① 縦割り班活動・奉仕活動を中心とした異学年交流や体験活動の充実により思いやりの心を育成する。</p> <p>② 体験活動と関連を図った道徳科の授業を実施し、生命や人権を尊重する心や人を思いやる心などを育成する。</p> <p>③ 教育活動全体を通して、人権教育を推進し、違いを認め、他を尊重する態度を育てる。また、思ちゃんコーナー、思ちゃんカードを積極的に活用し、人権教育活動の活性化を図る。</p>		<p>【達成状況】 児童の肯定的回答率 %</p> <p>・</p> <p>【次年度の方針】 ・</p>
	<p>A 3 児童は、きまりやマナーを守って、生活をしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「児童は、きまりやマナーを守って生活している。」 ⇒児童の肯定的回答</p>	<p>① 生活目標（短期的な具体目標）を設定する。「学校は社会のルールを学ぶ場である」という共通理解のもと、全教職員で指導内容を明確に把握することで、基本的な行動様式の指導を徹底し、習慣化を図る。</p> <p>・ 言葉遣いや廊下歩行について重点的に取り組む。生活当番による校</p>		<p>【達成状況】 児童の肯定的回答率 %</p> <p>・</p> <p>【次年度の方針】 ・</p>

	90%以上	<p>内巡視の強化や児童会を中心とした取組を継続して行い、規範意識の醸成を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 道徳や学級活動を中心として、きまりやマナーを守ることの大切さについて考える教育活動の場を設定することにより、児童の規範意識や正義感、思いやりの心の育成に努める。 <p>② <u>横川地域学校園で推進する時間・言葉づかいの指導の徹底を図る。</u></p>	
目 指	<p>A 4 児童は、時と場に応じたあいさつをしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「児童は、時と場に応じたあいさつをしている。」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上</p>	<p>① <u>家庭や地域団体と連携しながら、あいさつの日常化を図る。</u> 学級や学年集会等であいさつの大切さを理解させたり、よくできている児童を称賛したりするなど、礼儀やあいさつに対する意識の高揚を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 児童会主体のあいさつ運動 ・ 教職員によるあいさつの励行 <p>② <u>横川地域学校園による「あいさつ運動」を実施する。</u></p>	<p>【達成状況】 児童の肯定的回答率 %</p> <p>・</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・</p>
す 児 童 の 姿	<p>A 5 児童は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「私は夢や目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上</p>	<p>① 学期ごとに学習や生活のめあてを立て、振り返り活動を重視し、あきらめずに取り組めるよう認めて褒めて励ます指導に努める。</p> <p>② 学校行事や児童会活動、各種検定等での目標を持たせたり、役割を最後まで果たせたか振り返りの時間を確保したりする。</p> <p>③ 四つ星表彰や宮っ子教育表彰などを通し、児童が目標達成に向けて努力したことを称賛する。</p>	<p>【達成状況】 児童の肯定的回答率 %</p> <p>・</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・</p>
	<p>A 6 児童は、健康や安全に気を付けて生活している。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「児童は健康や安全に気を付けて生活している。」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上</p>	<p>① 児童が自分の健康に気を付けて生活し、自ら健康を管理できるように、学級活動、保健体育と関連し、休み時間の過ごし方・廊下の歩行や、手洗い・うがいの励行などの保健安全指導に努める。特に、感染症を予防するために、教室等の換気やできるだけ接触を避けるなどの生活の仕方について日常の指導を行う。</p> <p>② 学校給食と各教科等の関連を図り、栄養バランスのとれた食事やマナーの大切さ、望ましい食習慣の形成を図る。</p> <p>③ 危機を予測し、自らの命を守る</p>	<p>【達成状況】 児童の肯定回答率 %</p> <p>・</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・</p>

		行動力を育成するために、日常の安全指導を充実するとともに、交通安全教室、避難訓練等を計画的に実施する。	
目 指 す 児 童 の 姿	<p>A7 児童は、夢や目標をもって、社会に貢献できるよう努力している。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「私は夢や目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。」 ⇒児童の肯定的回答90%以上</p>	<p>① 宮・未来キャリア教育年間指導計画に基づき、全教育活動を通して、児童が自らのよさを自覚して夢や目標に向けて取り組もうとする意欲や、勤労の尊さや生産の喜びを体得させる活動を意図的・計画的に実施する。</p> <p>② 地域の取り組みを紹介するとともに、<u>地域と協力して、ボランティア活動や地域の行事に参加する機会を設ける。</u></p> <p>③ 各教科や学級活動と関連させながら、宮キャリア・パスポートを活用し、児童が将来の夢や希望を描いたり、目標の実現に向けて努力したりする意欲や態度を育成する。</p>	<p>【達成状況】 児童の肯定的回答率 % .</p> <p>【次年度の方針】 .</p>
	<p>A8 児童は、英語を使ってコミュニケーションしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「児童は外国語活動の授業やALTとの交流の際に、英語を使ってコミュニケーションをしている」 ⇒児童の肯定的回答90%以上</p>	<p>① 外国語活動や外国語の授業を通して、言語や文化について体験的に理解を深め、積極的に英語でのコミュニケーションを図ろうとする活動を展開する。</p> <p>② 授業以外にも、ALTと英語でのやり取りをする機会を設け、児童が英語にふれる機会を多くする。</p>	<p>【達成状況】 児童の肯定的回答率 % .</p> <p>【次年度の方針】 .</p>
	<p>A9 児童は、宇都宮の良さを知っている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「私は宇都宮の良さを知っている。」 ⇒児童の肯定的回答90%以上</p>	<p>① 学校図書館に宇都宮に関する書籍の常設コーナーを設置したり、読み聞かせなどで宇都宮関連の本を取りあげたりして、宇都宮に関する関心を高める。</p> <p>② 生活科、社会科、総合的な学習の時間の授業や地域での学習において、学習内容に関連させながら、児童が身近な地域や宇都宮市のよさに気付くような指導に努める。</p>	<p>【達成状況】 児童の肯定的回答率 % .</p> <p>【次年度の方針】 .</p>
	<p>A10 児童は、ICT機器や図書等を学習に活用している。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「児童は、パソコンや図書等を学習に活用してい</p>	<p>① 授業の中で実物投影機、デジタル教科書、一人一台端末等ICT機器を有効活用し、学習活動の充実を図る。</p> <p>② プログラミング学習の実施により、児童がコンピュータや情報機器に親しみ、適切に活用する</p>	<p>【達成状況】 児童の肯定的回答率 % .</p> <p>【次年度の方針】 .</p>

目 指 す	る。」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上	能力を育成する。 ③ 随時蔵書を点検し、学習内容との関連に配慮した図書の整備と拡充のため、図書選定委員会を通して計画的に補充するなど学校図書館の環境整備に努める。	
児 童 の 姿	A11 児童は、高齢者に対する感謝やいたわりの心をもっている。 【数値指標】 全体アンケートの「児童は、誰に対しても、思いやりの心をもって優しく接している」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上	① 高齢者への感謝や敬う心を育むために、生活科や総合的な学習の時間の授業などにおいて高齢者とふれ合う活動を設定する。 ② 体験活動と関連を図った道徳科の授業を実施し、生命や人権を尊重する心や人を思いやる心などを滋養する。【A2②再掲】	【達成状況】 児童の肯定的回答率 % . 【次年度の方針】 .
目 指 す 学 校 の 姿	A12 児童は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。 【数値指標】 全体アンケートの「児童は、環境問題や防災等の『持続可能な社会』について関心をもっている。」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上	① 総合的な学習の時間における環境教育やエコ活動等を通して、環境問題への関心を高め、環境と調和しながら生きる意欲や態度を育成する。 ② 学級活動や各委員会活動を通して、節電・節水や校内緑化の推進を図る。 ③ 図書資料を活用し、SDGsについて、主体的に学べる環境を整える。 ④ 教育活動全体を通して、人権教育を推進し、違いを認め、他を尊重する態度を育てる。 【A2③再掲】 ⑤ 過去の震災などの具体例から学ぶ機会を設け、防災教育を充実する。	【達成状況】 児童の肯定的回答率 % . 【次年度の方針】 .
目 指 す	A13 教職員は、特別な支援を必要とする児童の実態に応じて、適切な支援をしている。 【数値指標】 全体アンケートの「教職員は、特別な支援を必要とする児童や外国人児童等の実態に応じて、適切な支援をしている。」 ⇒教職員の肯定的回答 90%以上	① 特別な支援を必要とする児童に対して、個別の支援計画や個別の指導計画を作成・活用し、共通理解を図り、学校全体で指導にあたる。 ② 特別な支援を必要とする児童を含むすべての児童にとって分かりやすい授業の展開や、誰にでもわかるユニバーサルデザインを意識した指導をし、適切な支援に努める。	【達成状況】 教職員の肯定的回答率 % . 【次年度の方針】 .
姿	A14 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。	① 「いじめをしない、させない、許さない」心を培えるよう、あらゆる時間や場において、人権意識を高める指導の充実を図	【達成状況】 児童の肯定的回答率 % .

目 指 す 学 校 の 姿	<p>【数値指標】 全体アンケートの「先生方は、いじめが許されないことを熱心に指導してくれる」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上</p>	<p>る。 ② 「いじめ調査」や「教育相談」を定期的に行い、組織的な対応により早期発見、早期対応に心掛ける。</p>	<p>【次年度の方針】 ・</p>
	<p>A15 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。 【数値指標】 全体アンケートの「先生方は一人一人を大切に、児童がともに認め励まし合うクラスを作ってくれている。」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上</p>	<p>① 「挨拶」「励まし」「称賛」等の言葉掛けを行ったり、主体的に活動する場面や、活躍できる場面を設定したりして、自分の居場所となるような温かい雰囲気 の学級経営に努める。 ② 児童の自己肯定感を高められるよう、「思ちゃんコーナー」など児童相互に認め合う場を数多く設ける。</p>	<p>【達成状況】 児童の肯定的回答率 % ・ 【次年度の方針】 ・</p>
	<p>A16 教職員は、外国人児童生徒等の実態に応じて、適切な支援をしている。 【数値指標】 全体アンケートの「教職員は、特別な支援を必要とする児童や外国人児童等の実態に応じて、適切な支援をしている。」 ⇒教職員の肯定的回答 90%以上</p>	<p>① 外国人児童が円滑に編入学し、充実した学校生活を送れるよう、全職員が連携し、受け入れ体制づくりに努める。 ② 個々の実態に応じた指導内容や指導方法の工夫を組織的かつ計画的に行う。</p>	<p>【達成状況】 教職員の肯定的回答率 % ・ 【次年度の方針】 ・</p>
	<p>A17 学校は、活気があり、明るくいきいきとした雰囲気である。 【数値指標】 全体アンケートの「私は今の学校が好きです。」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上</p>	<p>① 学校評価、行事アンケート等を検証し、児童の思いを生かした学校行事、児童会活動、学年活動等を設定し実施する。 ② 児童一人一人のよさを伸ばす指導に努め、特色ある学校づくりや特別活動、道徳教育を推進し、望ましい人間関係の醸成に努める。</p>	<p>【達成状況】 児童の肯定的回答率 % ・ 【次年度の方針】 ・</p>
	<p>A18 教職員は、分かる授業や児童にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。 【数値指標】 全体アンケートの「先生方の授業は分かりやすく、一人一人に丁寧に教えてくれる。」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上</p>	<p>① 授業のねらいを明確にし、少人数指導やT.T、課題別学習など各学年の実態や各単元に応じた指導法の工夫を図り、個に応じた多様な学習を展開する。 ② ICTを積極的に活用したり教材や提示資料を工夫したりして学習意欲を高める工夫をする。 ③ 宮っ子学力アップシートや漢字・計算オリンピックをはじめ、朝の学習の時間などを活用し</p>	<p>【達成状況】 児童の肯定的回答率 % ・ 【次年度の方針】 ・</p>

目 指 す 学 校	<p>A19 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。」 ⇒教職員の肯定的回答90%以上</p>	<p>て、基礎・基本の定着を図る。</p> <p>① 教員と専門性を有するスタッフがそれぞれの能力や専門性を生かしながら、学校の諸課題や運営等に相互に連携・協力しながら取り組む。</p> <p>② 「横央小の児童は全職員で育てる」という意識のもと、打合せ等を活用して全職員が児童理解に努め、担任以外の児童にも積極的に関わり、児童のよさ等を伝え合い、児童の成長を見守り支援・指導していく。</p>	<p>【達成状況】 教職員の肯定的回答率 %</p> <p>・</p> <p>【次年度の方針】 ・</p>
目 指 す 学 校	<p>A20 学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「学校は教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。」 ⇒教職員の肯定的回答90%以上</p>	<p>① 出退勤時刻記録の継続や月に一度の定時退勤日の確実な設定・実施など、教職員一人一人が勤務時間を意識して、業務の効率性を考慮した計画や実施に努める。</p> <p>② 業務効率の改善に向け、ペーパーレス化を推進し、学級事務や児童指導等の共有化を図る時間を確保するため、日課の変更等の検討を行う。</p> <p>③ 地域コーディネーターや学校支援ボランティア等の協力を得て、各教育活動の効果的で効率的な業務の改善に努める。</p>	<p>【達成状況】 教職員の肯定的回答率 %</p> <p>・</p> <p>【次年度の方針】 ・</p>
校 の 姿	<p>A21 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「学校は、小学校と中学校が連携した『小中一貫教育・地域学校園』の取組を行っている。」 ⇒保護者の肯定的回答90%以上</p>	<p>① 「あいさつ運動」など<u>地域学校園の取組を懇談会や各種便り、ホームページ等を通して、積極的に保護者や地域の方々に知らせる。</u>(その都度、具体的に示し、実施の意義も伝えていく。)</p> <p>② <u>小中学校での相互の授業参観や研究授業の公開、中学校からの乗り入れ授業等の積極的な交流を実施する。</u></p> <p>③ <u>各分科会や学校一人配置職員の分科会を通して、地域学校園内の相互支援体制を充実する。</u></p>	<p>【達成状況】 保護者の肯定的回答率 %</p> <p>・</p> <p>【次年度の方針】 ・</p>
	<p>A22 学校は、地域の教育力を生かした特色ある教育活動を展開している。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「私は、地域や企業の方々と一緒に活動することで学習が充実し、楽しい。」</p>	<p>① 保護者による学習支援ボランティアや街の先生や読み聞かせ、安全ボランティア等の地域教育力を積極的に生かした体験型学習の充実を努める。(地域・保護者等と協力体制をとって、感染症対策を施す。)</p> <p>② <u>横川地域学校園の地域人材等について、交流連携分科会において、情報の共有化を図り、活用</u></p>	<p>【達成状況】 児童の肯定的回答率 %</p> <p>・</p> <p>【次年度の方針】 ・</p>

目 指 す 学 校 の 姿	⇒児童の肯定的回答 90%以上	<u>に努める。</u>	
	A23 学校は、家庭・ 地域・企業等と連携・ 協力して、よりよい児 童の育成に取り組んで いる。 【数値指標】 全体アンケートの「学 校は、家庭、地域、企 業等と連携・協力して、 教育活動や学校運営の 充実を図っている。」 ⇒保護者の肯定的回答 90%以上	① 保護者による学習支援ボラン ティアや街の先生や読み聞かせ、 安全ボランティア等の地域教育 力を積極的に生かした継続性や 系統性のある体験型学習の充実 に努める。(地域・保護者等と協 力体制をとって、感染症対策を 施す。)【A22①再掲】 ② <u>横川地域学校園の地域人材等 について、交流連携分科会におい て、情報の共有化を図り、活用 に努める。【A22②再掲】</u> ③ 本校の取組や各学年の行事等 について、各種便りやホームペ ージ等で保護者に発信する。	【達成状況】 保護者の肯定的回答率 % ・ 【次年度の方針】 ・
	A24 学校は、利用す る人の安全に配慮した 環境づくりに努めてい る。 【数値指標】 全体アンケートの「学 校は、利用する人の安 全に配慮した環境づく りに努めている。」 ⇒保護者の肯定的回答 90%以上	① 縦割り班による清掃指導の充実 を図り、清潔で心休まる学習環 境を整えたり、毎日荷物の整理 や片づけたりして教室の美化に 努める。 ② 毎月の安全点検や定期的な教 材・備品等の整理整頓により、 危険個所や不備について迅速な 改善に努める。 ③ 避難訓練や引渡し訓練等を通し て、不測の事態への備えを万全 にする。 ④ 新型ウイルス等の感染症拡大や 熱中症予防対策など、時期や状 況に応じた保健指導や管理に努 める。	【達成状況】 保護者の肯定回答率 % ・ 【次年度の方針】 ・
A25 学校は、学習に 必要なICT機器や図 書等を整えている。 【数値指標】 全体アンケートの「児 童は、パソコンや図書 等を学習に活用してい る。」 ⇒保護者の肯定的回答 90%以上	① 授業の中で実物投影機、デジ タル教科書、一人一端末等ICT機 器を有効活用し、学習活動の充 実を図る。【A10再掲】 ② プログラミング学習の実施によ り、児童がコンピュータや情報 機器に親しみ、適切に活用する 能力を育成する。 【A10再掲】 ③ 随時蔵書を点検し、学習内容と の関連に配慮した図書の整備と 拡充のため、図書選定委員会を 通して計画的に補充するなど学 校図書館の環境整備に努める。 【A10再掲】	【達成状況】 保護者の肯定的回答率 % ・ 【次年度の方針】 ・	

本校の特色・課題等	<p>B1 勤労生産的な活動を計画的に実施し、働く喜びを知る児童の育成に努めている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「私は、清掃活動や栽培活動に一生懸命取り組んでいる。」 ⇒児童の肯定的回答90%以上</p>	<p>① 縦割り清掃、クリーン活動、勤労タイム等に児童が主体的に取り組めるよう、計画・実施する。</p> <p>② 米作り体験や花壇・教材園などの栽培活動を計画的・継続的に実施する。</p>	<p>【達成状況】 児童の肯定的回答率 %</p> <p>・</p> <p>【次年度の方針】 ・</p>
	<p>B2 児童は、主体的に考え、互いに学び合う力が育っている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「私は、自分の考えを伝えたり、友達の考えを聞いたりしながら、学習することが楽しい。」 ⇒児童の肯定的回答90%以上</p>	<p>① 授業において、児童が自分の思いや考えや思いを豊かに表現できる学習活動を重視する。</p> <p>【A1③再掲】</p> <p>② 主体的・対話的で深い学びの実現に向け、授業研究会や授業を相互に見せ合う研修の機会を充実し、協働的な授業づくりと指導力向上に努める。</p> <p>③ 職員の授業力向上に向け、校内研修サポート事業を年に4回実施する。</p>	<p>【達成状況】 児童の肯定的回答率 %</p> <p>・</p> <p>【次年度の方針】 ・</p>
	<p>B3 児童は、自分のよさに気付きいきいきと生活している。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「先生は、自分のよいところや努力を認め、ほめたり励ましたりしてくれる。」 ⇒児童の肯定的回答90%以上</p>	<p>① 授業や生活の振り返り活動を重視し、児童が発揮したよさや努力したことが自覚できるような自己評価や相互評価の場を設ける。</p> <p>② 児童相互に認め合う場を多く設けるとともに、教職員も認めて褒めて励ます指導に努める。</p>	<p>【達成状況】 児童の肯定的回答率 %</p> <p>・</p> <p>【次年度の方針】 ・</p>

6 〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

7 学校関係者評価

8 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。